



(一社) 北海道建築技術協会(HoBEA)フォーラム 2019

北海道の住宅と地震災害

— 被害を軽減する建築技術と住まい方 —

2018年9月6日の北海道胆振東部地震では、傾斜地における広範囲の土砂崩れ、液状化等によると見られる都市部の地盤被害、建物の倒壊・損傷、それらによる人身被害の他、全道的な停電と設備機器の機能停止などの様々な被害が発生し、地震災害に対する私たちの生活基盤の弱さを知ることになりました。北海道に住む私たちにとっては、冬期に大地震が発生した場合の地震時被害の増大や地震後の避難方法、被災後の生活維持の困難さも大きな不安材料です。

各種の地震被害を軽減するには、宅地の地盤改良や建物の耐震化、生活インフラの強化など、専門的、公的な取り組みが必要なものと、私たち自身の日常的な工夫によっても効果の期待できるものがあるように思われます。

このフォーラムでは、私たちの住まいの現状や問題点、専門的、公的な取り組みに期待する点と、私たち自身の情報蓄積や工夫にも関係する点について、様々な視点から考えてみたいと思います。

主 催：(一社)北海道建築技術協会

後 援：北海道、札幌市、(公社)日本建築家協会北海道支部、(一財)北海道建築指導センター、
(一社)北海道建築士事務所協会、(一社)北海道建築士会、(一社)北海道ビルダーズ協会

日 時：2019年1月29日(火)14時00分～16時30分(受付13時30分)

会 場：札幌エルプラザ3階ホール (札幌市北区北8条西3丁目)

参加費：無料(定員250名)

【プログラム】

	司会	北海道建築技術協会	専務理事	吉野 利幸
14:00	開会の挨拶	北海道建築技術協会	会 長	石山 祐二
14:10	パネルディスカッション			
	コーディネーター	株式会社 丸田絢子建築設計事務所	代表	丸田 絢子 氏
	パネラー	北海道建築技術協会	寒地建築研究所 上席研究員	駒木根洋一 氏
		北海道建築技術協会	外断熱建築研究会運営委員長	佐藤 潤平 氏
		北方建築総合研究所	地域研究部環境防災G 研究主幹	戸松 誠 氏
		北海道建築技術協会	木質構造研究会運営委員長	平井 卓郎 氏
		北海道建築技術協会	環境・設備・IT・IIBI研究会運営委員長	山本 亜耕 氏
		北海道建築技術協会	常任理事	米澤 稔 氏
16:30	閉会			

フォーラム終了後、下記にて新年交流会を開催します。多くの皆様のご参加をお待ちします。
時間：17:00～ 場所：札幌エルプラザ地下1階 山わさび(北8西3) 会費：4,000円

[参加申し込み] インターネットまたはFAXにて1月25日(金)までに協会事務局へお申し込みください。

■インターネットの場合：<https://form.os7.biz/f/5068404b/>からお申し込み下さい。

※インターネットからお申込みの場合、受付の返信がなされます。

■FAXの場合：下記に記入の上、011-251-2800宛にお送り下さい。受付の返信はされません。

氏名 _____

フォーラム	新年交流会

(参加する欄に○を記入して下さい)

連絡先 住所 〒 _____

TEL _____ FAX _____

e-mail _____

同時参加者氏名	フォーラム	新年交流会

(参加する欄に○を記入して下さい)

[お問い合わせ] (一社)北海道建築技術協会事務局 TEL 011-251-2794